

5. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します.

●2021 年度の第 14 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「New Aspects of Teichmüller Theory」, 組織委員長を大鹿健一氏 (学習院大学) として, 2022 年 7 月 2 日~8 日, 19 日~22 日, 25 日~29 日に学習院大学と東京大学において開催される予定です. (新型コロナウイルス感染症の影響で開催時期が延期になりました.) 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

<https://sites.google.com/view/msj-si-teichmuller/home>

●2022 年度の第 15 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「応用特異点論の深化と展開 (Deepening and Evolution of Applied Singularity Theory)」, 組織委員長を西村尚史氏 (横浜国立大学) として, 2022 年 11 月 20 日~25 日にワークピア横浜において開催される予定です. 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

<https://sites.google.com/view/MSJ-SI2022/>

●2023 年度の第 16 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「楕円可積分系, 表現論, 超幾何関数 (Elliptic Integrable Systems, Representation Theory and Hypergeometric Functions)」, 組織委員長を今野均氏 (東京海洋大学) として開催される予定です.

●2022 年 5 月末日が締切であった 2024 年度 MSJ-SI の公募に対し, 2 件の応募がありました. 現在学術委員会において審議を行っております.

(学術委員長 塩谷隆 記)